

## 第2回 加茂市総合計画審議会会議録

日 時：令和2年12月7日（月）13：15～15：40

場 所：市役所5階 全員協議会室

出席者：会 長	出口 高靖	職務代理	乙川 智子
委 員	木戸 信輔	委 員	堀内 大祐
委 員	石附 孝子	委 員	山田 宗
委 員	山田 喜良	委 員	中山 勇
委 員	金澤理久夫	委 員	外石 栄子
委 員	中林 功一	委 員	阿部 貴行
委 員	安達 里枝	委 員	曾根 亮子
委 員	櫻井美奈子	委 員	加藤 はと子
委 員	渡邊 明子	委 員	中山 正栄
委 員	海津 恵美	委 員	森田 佑介

事務局：企画財政課

### 1. 開 会

### 2. 会長挨拶

### 3. 議 事

- (1) 第1回の振り返り
- (2) 今後の審議会の運営について
- (3) 基本構想骨子案について
- (4) 基本計画骨子案について
- (5) 意見交換

### 4. 事務連絡

### 5. 閉 会

13時15分 開会

○企画財政課長 皆さんお疲れ様です。お忙しい中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。企画財政課長の車谷です。ただいまから第2回加茂市総合計画審議会を開催いたします。

はじめに配布資料の確認です。お手元に資料一覧を置いてありますが、不足等ありましたら事務局の方にお知らせください。

本日は委員20名のうち現在19名の方にご出席をいただいています。定員の半数を超えていますので、定足数を満たしていることをご報告します。

前回、欠席されました中山委員より、一言自己紹介をお願いします。

[委員 自己紹介]

それでは次第の2、出口会長よりごあいさつをお願いします。

○会長 こんにちは。先ほど学生に話していたことですが、今日の朝のニュースではやぶさ2のカプセルが6年ぶりに帰ってきました。あの技術はオーストラリアの草原に100キロメートル四方のところに落とすという、かなり緻密な精度の高い技術です。そして、日本の宇宙開発を考えてみると、アメリカやロシアや中国のように、有人で宇宙開発をするということではないのです。やはり小惑星の探査という非常に、ニッチともいえる緻密な社会、緻密な道を開いていると思います。

その開発には2、300社の民間企業が携わっています。これからはJAXAのように国が主導であるが、民間が携わることが大事だと思います。

2つ目は、今実用化できない技術も将来何らかの形で技術が進歩できるのではないかと思います。宇宙から持ち帰った4割は保存するわけです。それは将来20年後30年後の技術であれば、もっと解析できるだろうと考えられているからです。

それと3つ目は、これが一番大きいのではないかと思います。これを見た子供たちは、未来への夢を見るのです。宇宙開発をしたい、宇宙の研究者になりたい。やはりこの3つ目の子どもたちに夢を与えることが一番大事ではないかと思います。

そこで思い出したのが、私も種子島に定住・移住促進事業で7年間、今も携わっていますが、JAXAは種子島に宇宙センターがあります。種子島空港のすぐそばに、増田通信所という展示場を持っている小さな通信所があります。事務所の入り口にヒヤリハットボックスがあります。職員あるいは研究者がヒヤリハットしたことをそこに入れるのです。そして、1つの重大事故を防ぐためには29の軽微な事故と300のヒヤリハット、これはハインリッヒの法則といって、リスクマネジメントでは必ず行うのですが、それを実践しているのです。

そして何が大事かということ、先端科学でも人為的なミスをなくすということ。JAXAも10年前くらい前だとロケットがいくつも落ちていたのです。打ち上げるたびに落ちていた。でも今はほぼ99.9パーセントの確率で上がっていくわけです。そしてそこで、脈々と研究者に伝わる言葉が「トライアンドエラー」です。トライして、エラーしたら修正するというこ

とです。やはりこれが、私たちも今後、総合計画が完璧なものができるかどうか分かりませんが、まずトライして、修正するくらいの心意気が必要です。

今日は総合計画の骨子や基本構想が出てきますが、ぜひやってみて、修正するところは修正してみるという心意気で皆さんにご協力をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○**企画財政課長** 本日の出席委員、20名全員ご出席いただきましたことを改めて報告させていただきます。それでは次第の3、本日の議事に入りたいと思います。審議会条例の規定によりまして、会長が会務を総理することになっておりますので、出口会長に議長をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○**議長** それでは議事を進行させていただきます。次第の議事1、第1回の振り返りです。第1回の審議会から2カ月ほど経過していますので、基本的な部分を振り返ってから新たな内容について議論をしていきたいと思います。

では、事務局から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○**議長** 第1回の振り返りで説明をしていただきましたが、かなり資料が多くなっています。最初の総合計画から始まって、最終的には資料2番の事務局の対応案についての説明をしましたが、ご質問やご意見はありますか。

[質問・意見なし]

議事を進めます。今後の会議の運営についてということで議事の2番目について事務局から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○**議長** 今ほど事務局から説明がありましたが、審議会の運営として、全体会ではなく分科会を設置して議論をしてもらう、熟議をしてもらうという形を次回取りたいと思います。それともう1つは、議事録の作成方法について説明がありましたが、少し修正をしてわかりやすくするということになっています。特に分科会の開催方法について何かご意見はありますか。

○**委員** 分科会の人選について、得意というふうにおっしゃっていただいて大変ありがたいのですが、私からするとこの項目を見たときに今まで携わったことがないので、これはどういう人選なのか気になっています。

○**企画調整係長** 委員については、行財政健全化計画に関わっていただいたことで、「行政活動」「財政運営」「行政運営」で続けて話し合いに参加していただきたいと、このグループに分けさせていただきました。

また、必ずしも皆さんの得意分野に入っているわけではない部分もありますが、何も専門的な議論だけをしたいというわけではなく、市民の目線から見てどうかというところも非常に重要視しているので、得意であるとか団体等を踏まえて割り振りはしてありますが、そこに縛られず広く意見をいただきたいということがグループ分けの意図になります。

○委員 ありがとうございます。

○議長 組織や団体に属している方についてはおそらくそこを優先的に配置されていると思います。ただ、イコールその人の専門分野かというところでもありません。もう1つは、専門的な目線と市民目線で見たい。そして、総合計画というものはわかりやすくしてもらいたいのです。できないことをいくら挙げて意味がないので、やれることからまずやっていただきたいし、そこに議論をもっていきたい。

そして最終的に、今回委員になられた方は全体を見るということなので、分科会で分かれているだけであって、他のところに口を出さないということではなく全体を見ていただきたい。ただ、前回でも、ある程度分けて話をするようにしてほしいという意見がやはりあったので、1つの手段としてこういった手段を取りました。分科会で議論が尽くせない、あるいは課題が出てきたときは、次の時にまた話をすればいいと思います。この2時間でできるかという疑問ですが、先ほど事務局からあったように、フォーマルでできるのかインフォーマルになるのかという議論はあると思います。ただし、やはりこの部分についてはフォーマルな形でお話をしていただければと思います。ただ、議論する部分についてはインフォーマルでも構わないと思います。

もう1つは得意・不得意ではなく、市民目線で見たい。皆さんが市民目線で、子育てに関係ないけれど子育てはこういうふうにやったらよい、あるいは防災については専門的な方もいると思いますが、積極的に取り組んでいただければと思います。

また、今回このように提示していますが、自分には合わないという人は事務局の方に聞いていただいて結構です。

他にご質問はありますか。

○委員 議論が足りなければ、分科会を複数回開催することを検討しているとのことですが、例えばこの第3回の議論の時に話が決着しなかった場合、複数開催すると仮定して、いつまでにその回がまとまればよいのでしょうか。第4回の前なのでしょうか。

○企画財政課長 第4回は4月に想定しています。そういったことから考えますと、第3回が3月1日を予定していますので、1つの目途として3月中があります。

○委員 この分科会で話し合った内容をまとめた情報がその第4回の前には皆さんに情報として配られるのでしょうか。

○企画財政課長 第3回の分科会でそれぞれご審議いただきましてまとまった形で、案はこちらの事務局や市の策定委員会で策定しておりますのでそこへ戻して、その変更が可能か、こういった形になるかを分科会のご意見と策定委員会でのそれに対する回答も踏まえて、情報をまた審議会の方にお答えするような形になります。

○企画調整係長 第4回を4月に開催しますが、分科会でこういった意見が出され、市の方でどのように考えてこういった計画にしたかをパブコメ案として出します。そこで出された意見と市の考えを皆さん共有できると考えています。

○委員 第4回の時に情報がまとめられて全て皆さんに行き渡るといえるのでしょうか。

○企画調整係長 はい。

○委員 ありがとうございます。

○議長 最終的には答申の時に策定委員との整合性がとれていればよろしいですか。

○企画財政課長 パブリックコメントを出す場合はほぼ成案に近い状態で、そこでパブリックコメントでいただいたものをまた協議いただくといった形になりますので、完成形の一步手前といった状況、ある程度分科会の意見を反映したものを第4回に示すような形にしたいと考えています。

○議長 パブコメはどれくらいオープンにしますか。

○企画財政課長 基本ホームページで、ひと月程度の期間をおいて市民の皆さんから意見をいただいて、どのような取り扱いになったかを示すという形になってきます。

○議長 今懸念されている材料は、果たしてこの時間で足りるかどうかという問題だと思います。どの程度まで議論するのか、それとおそらく、今どのようなものが提示されるかということがわからないと思います。今日はその案を出せるので、どのようなものが市の策定委員会から出てくるかというガイドラインはわかると思うのです。ゼロから作るとしたらおそらく時間が足りないと思います。ただ、そこまでではないですから、かなりの部分が作りこまれたものが出てくると思うので、それについて議論していただきたい。足りなければ分科会でもう少しもんでもらうか、あるいは、私の考えでは4回目は4月にやらなくても、パブコメをずらしてもよいので少し熟議が必要と思います。4回目はとりあえず4月に置いています、5月になったとしても、最終形で8月に答申ができればよいのです。

とりあえずは4月において、それまでに1カ月かけて議論をしていただきたい。

それと、深く入り込むとおそらく時間が足りなくなると思います。6分野で政策的には29くらいの施策があります。これは全て目標というか、定量性がついてきますので、中身を見て検証ができるような形にしていきたい。今の政策、おそらく市の政策と密接に結びつきます。政策というものは、エビデンスがないものは政策として認められないというのは今の大方の考え方です。具体的な数字が組めるような施策をお願いします。

そして最終的にどのような流れになるのかは、後ほど皆さんが疑問に思うのであれば聞いていただければと思います。

○委員 分科会のメンバーの一番上の方々に丸が付いているのは、取りまとめをされる方ということでしょうか。

○企画調整係長 丸が付いている方に分科会の取りまとめをお願いしたいと考えています。

○委員 座長ということですか。

○企画調整係長 はい、そうです。

○委員 わかりました。

○議長 座長なので全責任があるというわけではなく、まとめる役です。全責任は委員にありますのでひとつご協力をお願いします。

では議事を進めたいと思います。

本日の審議会の議事録については、石附委員に確認をお願いしたいと思いますがよろしいですか。

[石附委員 了承]

○議長 議事録の確認を後日お願いします。

次に、議事3番の基本構想骨子案について事務局から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○議長 説明していただいたのは基本構想の部分の骨子案です。冒頭に説明があって、「総合計画とは」とあるのですが、基本構想というのはこの上の部分です。そして後ほど基本計画というものをお話するのは各分野の施策になります。

基本構想というのは大まかに将来像、10年後どういうものを目指すかということの考え方です。そのためこの第1章から第5章はかなりざっくりとしています。

その部分について何かご質問ありますか。

○委員 第4章の加茂市の目指す姿、これが差し替えていただいた将来像と思って間違いないでしょうか。

○企画財政課長 第4章の部分、まちの将来像はこの部分で表します。

○委員 ありがとうございます。

○議長 他にご質問ありますか。

○委員 将来の方向性がこうなっているということで、これができる市民の人がどういふふうな気持ちになるのかと思います。この計画ができて、計画を遂行することによって、計画を作る前と作った後、実施する前と実施した後で市民の人たちがどういふふうな気持ちになる人が増えてくるのかと。そこがビジョンに近い感じで、それに向かってこういふ計画や行動を作っていく。自分が今までやってきた仕事はそういった仕事なので、どうもフレームに付いていけないのです。何か、手段が目的になっているように感じます。この総合計画を作り上げて、色々な事業を進めることによって、ここに住む加茂市民の人たちがどういふ気持ちになるのかというところを非常に知りたいと、それがパッションになると思いました。

○議長 ありがとうございます。そこについて説明はできますか。

○企画財政課長 将来像は、一般的にはキャッチフレーズに近いようなものになってはくりますが、ただしそれは具体的な目標のもとにその将来像に向かっていくというような形になります。将来像はイメージ的なものが他市を見ても多いですが、そこにはこういった目標に向かって最終的にはこの将来像を10年後、目指していくという形が示されていると考えています。

それと委員がおっしゃった、市民の方がどのように感じるかということですが、1つは今まで加茂市は総合計画がないような状況が25年続いてきました。それからその後に行財政健全化推進計画を作ることによって、どちらかという市民の皆さんにご負担いただくようなものがまず前提にきました。それから今度は夢であったり、将来こうあってほしいとい

うものを含めて、加茂市がこうあっていくということを示すことによって、市民の方からも一緒になって加茂市をよくしていくというような、そういった気持ちが生まれるのではないかと考えています。

○委員 計画を見ることによって「私も加茂に住んでよかった」「私も加茂がよりよくなるように頑張ろう」と思う人がたくさん増えてくるということでよいでしょうか。

○企画財政課長 はい、そういった形になっていただきたいということで、そういった計画にしていきたいと考えております。

○委員 また、少子化というか人口減のところからいくと、何か具体的なビジョンのようなものが示されると非常によいと思っています。この段階では難しいかもしれませんが、例えば少しでも加茂に住みたい、住むことによるメリットが増える人が多くなる、あるいは健康寿命が延びるので加茂市はよい、高齢者にもよいし子育てにもよいといったように、「だから加茂に住みたい」という人の割合が圧倒的に増えてくる、あるいは圧倒的に増やすなど、そういった意思のようなものが明確にあると計画も作りやすいと思いました。

○企画財政課長 委員がおっしゃっている少子化対策について、ワークショップやこの前の総合計画の勉強会で少子化は全国で非常に大きな問題であり、さらには加茂市も少子高齢化、人口減少が進んでいくということは非常に大きな課題になっているというのはご理解いただけたと思います。

ただ、そこに対して非常に様々な施策を組み合わせることによって、どの市でも今非常に懸命に取り組んでいることと思いますが、加茂市はある意味後発隊で今そういった大きな課題に取り組もうとしています。その中で今回の総合計画で、示されるものは具体的な施策に示されると思いますし、長期的な部分になりますと時間をかけて具体的な施策について表せないところも出てくると思いますし、人口減少につきましては社会的動態であったり自然動態であったり、どちらも加茂市の場合はマイナスに推移していますので、委員がおっしゃるような健康寿命を延ばすといった対策も非常に重要となってきます。

○委員 私は意思を明確にしていきたいと思ったのです。少子化、あるいは人口減になったとしても加茂は生き残ると。そのために行政の方の意思が感じられればよいだけだと思ったのです。他市町村がなくなっても加茂市は残る、存続させるという明確な意思がやはり一番のポイントではないかと思うのです。そうでないと計画のための計画になりがちなので、そこをよく注意しなければならないと思いました。

○企画財政課長 ありがとうございます。そういった意思を反映できるように、こちらの計画の中で示せるような形を取っていきたいと考えています。

○議長 ありがとうございます。よろしいですか。

○委員 はい。

○委員 確認ですが、「北越の小京都 加茂」というキャッチフレーズというかコンセプトが今までありましたが、それは外すのでしょうか。

○企画調整係長 明言できません。

- 委員 明言できないというのはどういうことですか。
- 企画調整係長 明言できないというのは、それを中心にまちづくりを進めていくというところまでは今は詰めていませんので、はっきりと明言できません。
- 委員 可能性はあるということですか。
- 企画調整係長 可能性はあると思います。
- 委員 わかりました。
- 企画調整係長 委員は「小京都 加茂」でまちづくりをしていきたいというお考えでしょうか。
- 委員 今までずっとそうですし、今後もそれは、加茂の看板だと思っておりますので、1つのコンセプトとしてそれは外さないでいただければと思っております。
- 企画財政課長 基本構想の中の将来像については、今回は具体的なものをある程度絞った形をお示ししたいと思っておりますが、ご意見の1つとして承りたいと思います。
- 委員 お願いいたします。
- 議長 他にご質問はありますか。
- 委員 今議論すべきポイントは、基本構想骨子案についての意見ですか。
- 企画調整係長 基本構想骨子案と、将来像の設定について方向性やキーワードを資料の4で出していますけれど、他にこういった方向性があるのではないかということや、こういったものをキーワードに入れると皆さんもっと夢と希望を持って加茂市に住み続けたいと思うのではないかなど、そういったところをご意見いただきたいと思っております。
- 委員 加茂市の将来像ということで、私が子育てサークルのメンバーなど色々な方と考え、議論してきた中で、新たに策定する将来像・キーワードの中にもある「つなぐ・つなげる」と似ていますが、私が考えたものは「つながるまち 加茂」というものです。

この「つながる」ということでどういったことをイメージしているかということ、まずは情報の入手のしやすさです。私も加茂に転入し、まずホームページを見たときに、情報が古く必要な情報が得られないということが、私だけではなく一緒に子育てしているメンバーからも聞かれたことで、加茂というのは知る人ぞ知る情報が多く不公平な感じがあります。今から加茂に転入しようとする人や新しく来た人にとっての入り口はホームページなので、これから業者の方も入れて大幅にリニューアルされるということで期待していますが、まずそういった面でのつながるということが大事ではないかと思っております。

また、仲間とつながるコミュニティというものも非常に少ないと感じていて、私たちは子育てサークルを立ち上げたのですが、それはつながるコミュニティが存在しなかったからです。既存の子育て支援センターに行っても仲間とつながることができない、また職員さんの働きかけも消極的なこともあり、孤立を感じている母親たちが非常に多いということで、そういったつながるコミュニティや先ほどの情報のことなど、つながるという意味で考えると、例えば困ったときの頼れる先として相談窓口ということもありますし、学ぶ機会というのはつながりということで学校教育、地域とのつながりということであれば地域活動、イ

ベントや住環境の整備も入りますし、そういったことを充実させることによって所属意識や愛着ということも生まれてくると思いますし、それが定住やUターンにつながってくるのではないかと考えています。

他に、行政が担う役割として全体を見渡した時に、仕事とのつながりや健康や福祉とのつながり、次世代の命のバトンということで医療や子育て支援もそうですし、文化の継承や加茂の財産である自然とのつながり、市民と行政とのつながり、施設の相互利用など他市町村とのつながりもあると思います。人は他者やコミュニティとつながらないと生きていけないので、つながるということは非常に大事なキーワードだと私は考えています。加茂の人たちとつながり加茂の土地とつながるということが定住や愛着につながるのではないかと思います。ここで学んだ子どもたちが「また加茂に戻ってこよう」と思えると思います。

先ほどキャッチコピーというふうにおっしゃって、私も他の自治体のものを調べましたが、そういった短いキーワードがあると皆にも浸透しやすいですし、〇〇のまちということで総合計画に向いているのではないかと思います。

○議長 ありがとうございます。

○企画財政課長 今様々な将来像、キーワードを示させていただきました、さらには他市のものをご覧いただいたということですのでけれども、やはりキャッチフレーズに近いようなものの下に基本目標として具体的な施策が出てくるのですが、目指すべき分かりやすい将来像を、今のご意見を参考にしながら、また次に案を示させていただきたいと思います。

○議長 他にご質問はありますか。

○委員 2030年にどのようなまちにしたいのかというものがあるからこそ、「生かしたい」や「伸ばしたい」がくると思います。その順番が逆になっていて、10年後このようなまちにしたいから福祉の充実を図る、教育の充実を図るといった一番初めの部分が曖昧なまま方向性や将来像がたくさんあるので、何かまとまらないような感じがします。本当はそこから逆算して、どう取り組んでいけばよいのかを決めるとは思いますが、今は根本となる部分がぼやけているような感じがします。

その方向性をしっかり示していただけると、それに対してどうするということが言えると思うのですが、どうでしょうか。

○企画調整係長 最初は、将来像を設定して目標を設定し、それぞれの取組の方向性が出てくるというふうに考えて作業をしていましたが、それを1つに絞るという作業がかなり難しいものでした。今は逆に、下から積み上げていくことによって将来像も出てくるのではないかとということで、同時並行で進めているところです。

それぞれの取組の目的などを議論することによって方向性が出てくるのではないかとということで、今は下からビルドアップしていくことに重きを置いていますが、委員がおっしゃるとおり、上から来たほうがイメージしやすいというところはあると思います。

しかし、内部で実際にある程度事務事業が動いている中では、下の議論から積み上げていくということもよいのではないかとということで、今はそういった方法で庁内では議論を進

めています。

○委員 他との差別化や加茂独自のものができず、何かできることを積み上げていったように曖昧なままで出来上がってしまうように思います。

○議長 難しいことが1つあって、総合計画を作るということが首長の1つの所信表明であることは間違いのないことです。総合計画の何が大事かという、そこにいる首長がどのような夢を描くか、それに対して市民がどう反応するかということです。なぜ難しいかという、総合計画が25年間ないからです。

市の職員が積み上げていくとした場合、現実論からかなり離れた目標を設定できるかという、できないと思うのです。

市に頼らずに行う方法もいくらでもあると思います。皆さんはそういった目線で考えてもらえれば私はよいと思います。

そして、市から挙がってくるものとのぶつけ合いだと思います。ただし、ぶつけるときにはこちらから対抗案を出さなければいけません。否定するのはよいのですが、対抗案を出さなければいけません。絶対に必要なこととして、こういったものはどうかという対抗案を皆さんの力で作っていただきたい。否定するのは簡単です。私はいつも言うのですが、自分の能力の100倍、否定する能力はあるのです。

皆さんぜひ市から出てきたものに対抗してください。ぜひ対抗案を出してください。

○委員 皆さんがおっしゃっているのと私も同意見で大きな目標、「あらゆる世代の人が幸せになる」であったり、それこそ「北越の小京都」など何でもよいと思いますが、やはり何か1つ夢を語れるようなものがあって、そこから取り組んでいくほうがおそらく夢のあるものが出来上がるのではないかと思います。

事務局の方の話を聞いていても、最初の総合計画の説明からいっても、今自分たちが行っている事務事業がどこに向かっているのかということがわからないので総合計画を作るとおっしゃっていますが、ではその先にもうひとつどこへ向かっているのかということが私も含めて皆さん言っていることだと思いますが、1つ解決策があるならば、それこそ市長に示してもらうのか。もしかするとそれさえもこの場所で話し合う権利が私たちにあるのか、というところだと思います。

もし市長がそれさえも私たちに考えるようにと言うのなら、全力を出して激論したいと思いますが、その辺りはいかがなのでしょう。

○企画財政課長 今回、広く将来像になりうるようなキーワードを示させていただきました。ただし、皆さんにここから決めていただくというのは不可能な話だと思います。次回には絞り込んで、こちらの方からいくつか提案できるかと思います。

そこについては具体的な目標がほしいという意見もありましたし、他市を見ると一言で、例えば見附だと「スマートウエルネスみつけ」、十日町であれば「選ばれて 住み継がれるまち とおかまち」など本当に様々です。一言で将来像を言うところもあれば、人づくりやあるべき姿を抽象的に言うところもあり、千差万別です。

ある程度こちらの策定委員会の方で絞り込んだものを次回提示させていただきたいと思っています。

○委員 その時に先ほど会長が言われたように、実務的なところから積み上げてしまうと、本当に委員がおっしゃったようにやれることだけが積みあがって行って、あまりその先が広がらないものになってしまうと思います。これは会社経営でも一緒だと思います。

今は赤字体質だと思いますが、本当に皆さんの中で夢を語るというような視点に立って考えていただければよいと思いました。

○企画財政課長 先ほども話をさせていただきましたが、健全化の時はどちらかという後ろ向きのイメージでしたが、これからは市民の皆さんが前向きに向かっていくような総合計画、将来像を提案できればと考えています。

○議長 次回2、3案を提示していただき、それで議論を深めていくということによろしいでしょうか。一旦市の方から提示していただいて、おそらく市の策定委員会の方でもある程度は行っているわけですね。

○企画財政課長 今はまだ広いレベルで、これから絞り込みの作業が出てきます。

○議長 次回に提示をいただくということでお願いします。

そして今日いくつかの意見が出ていますが、それを反映するということは大事なことだと思うので、これから皆さんからいただいた意見を反映して進めさせていただきたいと思っています。

次は基本計画の案を説明していただきたいと思っています。これが基本構想の下にぶら下がってくる基本計画です。それについて事務局から説明をお願いします。

[事務局が説明]

○議長 今ご提示いただいたのは基本計画の骨子案で、資料ナンバー2については1つずつの施策に関して1枚です。29枚できるということでよいでしょうか。

○企画調整係長 はい。

○議長 29枚が基本計画になります。最低でも基本計画の骨子は29ページあるということになります。

さらに資料ナンバー3が、現在策定委員会の方で、各担当がさらに細かく展開方向や取り組み事業についてここに落とし込んで書いているものでよいでしょうか。

○企画調整係長 はい。

○議長 基本的にこれに対して予算が付いていくということですが、予算ありきではなくて、どこに予算を付けるのかという話になると思います。ここはメリハリの付くところではないかと思っています。

基本計画の骨子案を今日お示ししましたが、なかなかこれは読まないと分からないかと思うので、ぜひ読んでいただきたいと思っています。ご質問をいただけるのであればいただきたいと思っています。

○委員 自分の印象としては、人口が減ろうが減るまいがあまり関係ないような内容では

ないかと思えます。就業者がますます減ってくる、住む人がますます減ってくるといった環境の大きな変化が迫っているということを踏まえた上で、これを全てするのかということとは少し疑問として浮かびました。

そういった環境要因を踏まえた形で、先ほど会長がおっしゃったようにメリハリを付けることを検討するのか。これは減らないときにも必要な内容ではないかと思えます。

ところが激減していく環境の中で、同じ内容のことをしてよいのかということが少し心配になりました。そこは精査と重点化、捨てる部分や統廃合が必要なのかということや、逆に先ほど委員がおっしゃった、加茂市の特徴や強みを生かした形で、一緒にして予算を付けて強化していくというメリハリがないと、具体的に作ってしまうと皆取り組んでしまうので、人口が増えるときの政策まで一生懸命行っているような形になってしまうのではないかという心配を持ちました。

○議長 これについて何か事務局の方からコメントはありますか。

○企画財政課長 ご指摘のとおりです。

第1回で人口減少が大きな問題で、そのフレームに合った行財政の体系づくりというような話をしました。それで基本的な施策で、市として担う役割をまず挙げてあります。

そして今大きな問題となっているのが、公共施設の統廃合です。今年度中に再配置計画を策定しますが、それをどこまで反映できるかというところがあります。具体的に明確に打ち出せるものや、時間をかけて検討するものを5年間のうちに基本計画でどこまで打ち出せるかということが1つの課題となります。

また委員がおっしゃったように、さらに人口が減少していく中で、メリハリを付けないと今後継続できないということだと思えますが、5年間でこの項目がなくなるのかどうかというと、結局これは基本計画ですので5年間継続するもの、今行っている市の施策が全てこの体系の中に入っているという前提です。5年間の中でこれは続けていくという前提です。

ただし委員のおっしゃっていたメリハリという部分がどれだけ表現できるかです。

○委員 例えばA、B、Cランクなどで分けて、絶対にしなければならないこと、やらなくてもよいこと、検討材料のこと、のような形にしてもらえるところに議論の焦点を当てるかということが見えてくるのではないかと思えます。

○企画財政課長 今は項目立てではありますが、基本計画での記載内容にメリハリを反映させたいと思えます。それに対してご指摘をいただけるようお願いしたいと考えています。

○議長 はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか。

○委員 そういう現実なので、受け止めました。

○議長 1つ言えることは、これが最低限、行政が行うべき内容です。

ただ、どこを重点化していくかということが次の問題だと思えます。

そして、答申してこれが受け入れられるかどうかは市議会で結審するわけです。それを取り込むのは市議会なので、「こうなりました」ということでもよいのではないかと思えます。

公共政策でいうと、やはり水道や道路というのは、これは間違いなく補修せざるを得ない

わけです。もう 50 年経過しているのです、それを行わないわけにはいかないのです。

では人が減ることにより何が問題になるかという、公共施設の利活用です。

もう 1 つ、小中学校の案件を市がここに盛り込めるかということです。

○**企画財政課長** どこまで具体的なものを出せるかという事で、はっきりとできると言えるものや、する意思表示をするものは当然ながら反映しますし、そうでなければ検討やその期間の中で考えていくといった形になるかと思えます。

○**議長** 皆さんの意見を反映して出してもよいとは思いますが、それが受け入れられるかどうかは難しい話です。

私は、市として行う最低限の内容はここに盛り込まれていると理解しています。

ただしその上に、夢のあるものなどをもう少し重点化していかざるを得ないということはあると思います。

そして、これは下から積み上げてくると、やはり各課の事業内容が入ってくると思うので、そこも考慮しながら、ぜひ皆さんには検討いただきたいと思えます。

総合計画は今のところなかったわけではなく、平成 6 年のものがあるのですがそれが全く検証されていないことと、もう 1 つこれから何が問題になるかという、ある施策については資料ナンバー 2 にありますように、政策指標を入れなければならないわけです。この西脇市でいうと、合計特殊出生率が平成 36 年に 1.75。1.75 という、かなり高いです。このように各市町村の指標を入れていくわけです。

これを達成するかどうかということに対しての、具体的な施策の展開になるわけです。これらは全て関連付けてあるわけです。どれがなくてよいというのではなく、これら全てが、予算化されていくということでご理解いただきたい。この 29 の施策が果たして正解かどうかは市の委員会の方で検討していただいていますので、それに対してやはり我々も真摯に向き合って議論していきたいと思うので、ぜひお願いします。

今日これだけの基本計画の骨子案をお見せしていますので、おそらく次の分科会でこれについて 1 つずつ議論していくという形になると思えます。

そこがこれから皆さんにとって非常に大変な作業になると思えますが、分科会でこの分野ごとの施策を議論していただきたいと思えますので、ご協力をお願いします。

他にご質問はありますか。

○**委員** 基本計画骨子案は、パブリックコメントで公に提示されるのでしょうか。

○**企画調整係長** 骨子案ではなく、基本計画に落とし込んだ形で出す予定です。

○**委員** これを公で見られた方々は、自分たちのアンケートがどこに反映されているのかということが気になると思えます。

この提案が少し手間になることは分かっていますが、市民の方からいただいたアンケートで多かったご意見はこういったところに反映されているということが分かれば、なおさら皆さん興味を持って、色々な方のご意見が出てくるのではないかと思います、いかがでしょうか。

○**企画調整係長** アンケートの結果は集計して統計的に分析していますが、この順番については、重要度・優先度の高い順番に挙げています。市長の方針もありますので、それとアンケートを踏まえて組んでいます。健康・福祉や安心・安全といったところは非常に関心が高いので、優先順位を上を持ってきています。

もちろんアンケートでの個別の意見もありますが、全てを反映させるわけにはいかないので、優先順位を上げる、もう少し力を入れて展開していくというような書き方をするといい形で反映させるようにしていきたいと考えています。

○**委員** わかりました。

そういう情報があると市民の方が、優先度が上にあるものには市民の意見が反映されている、市民の声がこういうふうに入っているということが分かると思います。そういった文言なり何か示すものがあるとよいと思いました。

○**議長** アンケートはオープンにしているのですか。

○**企画調整係長** 今のところ審議会と策定委員に出していますが、市民の方にホームページ等での公表はしていません。

○**議長** 公表することには問題があるのですか。

○**企画調整係長** ありません。今準備を進めています。

○**議長** それでは同時進行で公表すればよいのでは。

○**企画調整係長** 公表することで、こういった意見が多いということが出ているので、それでご理解いただけるとこちらの方では考えていたのですが、そういった説明があったほうが市民の方は理解しやすいと思うので、こういった考え方で作っているということを一言付け加えるように工夫してみます。

○**議長** 基本計画の骨子案について説明をさせていただいています。これから議事の方でいくと、意見交換に入ります。

全体を含めて総合計画について、ご意見ありますでしょうか。

○**委員** この骨子案詳細版で 29 項目の施策があり、この柱の方は 79 ありますが、この柱の方はどのように項目が立ったのか教えていただけますでしょうか。

○**企画調整係長** 他市町村のものを参考にするとともに、計画の内容のボリュームを見ながら割り振りしています。

○**企画財政課長** 体系としてまとめて分かりやすくなるように、それぞれの施策を分類しました。

○**委員** ありがとうございます。

先ほどの会長のお話で、これらは最低限市として行うべき項目なのではないかということがあったと思いますが、この項目すらも私たちが次回検討する材料になるのでしょうか。それともこれは固定で、このナンバー3の資料の、こちらの方を私たちが検討するようなことになるのでしょうか。

今日この 79 の項目や 29 の施策に少し意見してよいものなのか教えていただけますか。

○議長 議論をどこまでしたらよいかということについてですね。

○委員 はい。

○企画調整係長 今行っている作業が、この詳細版をもとにして、漏れないかということと、ボリュームが果たして適正かを見ながら全体を整える作業で、そこからさらに計画の内容を書き進めています。

内容を書き進めているというのは課題を抽出し、どのような方向性で持っていくかということを検討しながら今計画を作っているということです。

そしてそういった作業を進める中で、今骨子を示していますが、29 あるものが減っている可能性もありますし、増える可能性もあります。

施策の柱についても同様で、組み直す可能性もありますので、現段階ではこういった柱で検討を進めているというものになります。

意見をしても大丈夫かというお話でしたが、この段階でもたくさん意見をいただきたいと思っています。資料がまだ少し整っていない、たたき台の段階で示させていただいているのは、ある程度完成したものを示して意見をいただくよりも、早い段階から意見をいただきたいという趣旨で出しています。

今日いただいても結構ですし、後日メール等でいただいても結構ですので、意見はたくさんいただきたいと考えています。

○議長 ある程度意見を言ってもいいということですか。29の施策については触れないほうがよいのでしょうか。

○企画調整係長 どちらも大丈夫です。

○議長 ただ、最後の取組や事業についてはもう各課で話をしていますね。

○企画調整係長 取組や事業はほぼ今のものを落とし込んでいるような形です。

○委員 分科会で私は3番の生活環境・生活基盤のところなのですが、その中で1つ気になることがあります。ナンバー3の資料の2番の消防・救急のところについて、救急の部分はもっとすることがあるのではないかと思います。おそらくコミュニティのところとも絡んでくるかと思いますが、個人医院との連携をどうしていくかということや、何かあったときに加茂市の中だけでは医療が賄えないのではないかと思いますので、他市町村との連携や、加茂病院等の病院との連携といったものも、ひとつ施策の柱に入れてもよいのではないかと思います。

○企画調整係長 ありがとうございます。

確認なのですが、この骨子案の詳細版でいうと2番の分野ですか。

○委員 3の中の2番の消防・救急の中の4番です。

○企画調整係長 1ページ目の健康・福祉の「地域医療」の辺りでもそういったことを書こうと思っています。重なる部分がありますのでその辺りは整理しますが、病院との連携等をここに書いてもらいたいということで対応します。

○委員 はい、あったほうが良いと思います。

○企画調整係長 わかりました、ありがとうございます。

○議長 他にありますか。

○委員 3つお話をさせていただきたいと思っております。

最初に、先ほど資料の見やすさというお話がありましたが、それぞれ非常に深いところまで説明していただくような資料をたくさん配っていただいて、私にはとても見やすく情報が受け取りやすい資料でした。これだけのものを作られるということは本当に時間と手間をかけられたのだと思い、本当に感謝いたします。

2つ目はこの骨子案詳細版についてなのですが、今ご意見をということでしたので、私からも1つお願いします。

1番の子育て・教育のところの施策の柱なのですが、1番が子育て支援・相談体制の充実、そして2番が保育サービス・幼児教育の充実と2つの項目がありますが、私の提案としては1つ、「親教育、親の子育ての学びの機会を充実させる」といったことを付け加えていただきたいと思っております。他県の親教育と比べると、本当に加茂市は子育ての学びの機会が少ないと感じています。

そして3つ目が先ほどからお話に挙がっている、将来像・加茂市のキャッチフレーズをどうするかという話です。

事務局の皆さんが考えられたこの将来像の方向性の、新たに作成する将来像のキーワードを見ると、素晴らしい前向きな言葉がたくさん出ているので、おそらくすでに策定委員会の皆さんの中には将来像やキャッチフレーズが浮かんでいらっしゃるのではないかと思います。先ほど委員がおっしゃったように市民がどのような気持ちになればよいかというポイントで、皆さんでざっくばらんにお話をされればすぐにキャッチフレーズが決まるのではないかと私は思っています。

○委員 私は年寄りで、字が小さくてあまり見えない部分がありまして、できれば大きな字にしていただければありがたいです。

○企画調整係長 大きな字で簡潔に書くように気を付けます。

○議長 その他ご質問はありますか。

○委員 先ほど市の方から公共施設の再配置計画を年度内におまとめになるという話を聞きましたが、私が今後分科会で行財政のところを話し合う中で、年度内にまとめられるというその公共施設の再配置計画もひとつ重要なポイントだと思います。おそらく計画案にはなるかと思いますが、3月1日時点でその計画はお示しいただけるのでしょうか。

○企画財政課長 再配置計画は非常に重要なポイントになってきます。

3月1日の段階でどのレベルまで出せるのか担当部署とも協議しながら、精一杯出せるようにはしていきたいと思っております。

その段階で明確なものを出せるのかどうかは現段階ではお返事できませんが、努力させていただきます。

○委員 わかりました。

- 議長 それは次年度の予算の中で行うということですか。
- 企画財政課長 今年度の予算で実施しております、年度末が作成の期限になっております。ある意味、この総合計画と整合性のすり合わせが非常に厳しいような状況はありますが、可能な限り提示させていただきたいと思います。
- 議長 3月末までには出るということですか。
- 企画財政課長 はい。
- 議長 それは議会承認ですか。
- 企画財政課長 いえ、市が作る計画で、そこではまだ1つの案ができるというもので決定事項ではありません。それを前提にしてどのように公共施設を再配置していくかという資料ができるということです。
- 議長 それは3月の時点でここに公表できますか。
- 企画財政課長 そこも含めて、スケジュールがタイトですので3月1日の段階でどのレベルまでお出しできるかということは現段階ではお答えできません。
- 議長 わかりました。よろしいでしょうか。
- 委員 はい。
- 議長 その他ご質問はありますか。
- 委員 冒頭に総合計画ということでお話をお聞きしましたが、私の所属しているJAでは中期3カ年計画というものを作っています。
- 基本構想は10年、15年先の構想なのでよいのですが、基本計画がこうして策定された後、10年間検証されなくなってしまうことを危惧しています。
- 世の中が変動していくこういった状況で、ある時点で見直しをかけることや、またもう一度策定するということはしないのでしょうか。その辺りをお聞かせいただきたいです。
- 議長 その辺りの見直しの期間についてはどうですか。
- 企画調整係長 おそらく説明が漏れていました。
- 基本計画については、計画期間5年で作るつもりです。成果指標を作りますので、前期5年を経過した時に指標に対してどれだけ成果があったかということなどを見直し、より効率的に成果が出るように後期計画を作りたいと考えています。
- 委員 その時にもう一度、こうして委員会を発足して見直しをかけて策定していくということでしょうか。
- 企画調整係長 幅広く皆様にご意見を伺いながら作っていきたいと考えています。
- 委員 はい、わかりました。
- 議長 他にご質問はありますでしょうか。
- 委員 気づいたことをメール等でやり取りさせていただいて大丈夫ということで、非常に皆さんが意見を言って活発な会になったので、これがこのまま3月までタイムラグがあるのはもったいないと思いました。
- 自社のことでいうと、チャットを利用して皆が意見を言い合ったことがありましたが、そ

れでもどんどん意見を言い合うことができました。もし可能ならば、事務局とのメールのやり取りだけではなく、何かこの皆のコミュニティができて、自分もそう思ったなどの意見を言うことができるのではないかと思います。

皆さんがこうして色々な意見をお持ちであることが非常に素晴らしいと思いますし、先ほど色々な方がおっしゃったように、将来の子どもたちや社員の皆の家族が幸せになれる加茂市になってほしいという思いは皆一緒だと思います。

最後に計画を策定しこの会が終わる時に、「あの時に自分は携われた」と思えるような充実した委員会であればよいと思いますので、ぜひ意見を言える場を設けていただければよいと思いました。

○議長 審議会だけが議論する場ではないと思うので、インフォーマルな形でも構わないとは思いますが、その辺りについて何か考えはありますか。

○企画財政課長 情報を伝達・共有するためのツールが難しいかと思います。

○議長 皆さんがそのツールを使えばよいのですが、なかなか使えない方もいらっしゃると思うので、その問題があります。

○委員 1つの検討材料として言ったことです。せっかく皆さんがこれだけ意見をお持ちなのに、次が3月というのはもったいないと思いますし、忘れてしまう部分もあります。

○議長 これから委員会の方で資料が作成されると思います。私も前回の打ち合わせの際にも言ったのですが、資料を中途半端でもよいのでその都度流してほしいと思います。途中なので流せないということではなく、途中でも流していただきたい。

○企画財政課長 ご提示できる資料であれば、会長のおっしゃるように次回を待たずに早い段階でご提供させていただきますが、インフォーマルな形での議論については事務局とのメールのやり取りを基本にさせていただいて、もし可能であれば委員の皆様様に任意で行っていただくという形になるかと思います。全ての委員の皆様での共有というのは少し難しいかと思います。

○委員 ありがとうございます。

○議長 できる限りの情報の共有化とスピード感が大切だと思うのでぜひお願いします。

○委員 今の話と少し関わりますが、元々2月だった予定を3月に延期するのはなぜなのでしょう。先ほど委員もおっしゃったように今回は非常にボリュームがあると思うので、私も次回を2月ごろに詰めて開催して時間を取れるような形にしたほうがよいと思いますが、どのような事情で後ろにずらしたのでしょうか。

○企画調整係長 2月の後半で日程を探ったのですが、都合がよくありませんでした。3月1日開催ということで大目に見ていただきたいというところが正直なところです。

○企画財政課長 少しボリュームが多いということでこちらの作業量も多くなるということもありまして、部署で予算等の作業も同時に行いながらという事情もありますので、3月1日の開催ということにさせていただきました。

申し訳ありませんが、資料ができ次第、情報提供させていただくということをお願いした

いと思います。

○委員 日程はほぼ決まりなのでしょうか。いつ本決定となるのでしょうか。

○企画調整係長 今日この後の事務連絡で3月1日を予定しているという話をしようと思っていますので、その日で調整したいと考えています。

○委員 最後に1点、今の市長になってから支出の大幅な削減に色々取り組まれてきたと思いますが、何がどこまで取り組まれ、コストカットされたのかということ、取組一覧のような形で見られる資料があればよいと思います。

先ほどの79のものを削ることを考えていかなければならないほど厳しい財政状況だと思いますが、今いったいどこまで削ってきたのかが分かる資料があれば、次話し合うときに話しやすいかと思います。

夢を語る部分と現実的に削っていく部分とのバランスが非常に大事だとは思いますが、今どこまで行っているのかがすぐに分かるような資料があるとありがたいです。

○企画財政課長 この総合計画の取組の前段として行財政健全化推進計画を策定し取り組んでいます。その初年度が2年度になりますので、2年度の結果を見て検証・公表するような形になるかと思いますが、そうすると時間がかかってきます。決算が出て、それから取組がどのような結果であったかということを確認するので、もう少し時間をいただきたいと思っています。

○委員 今の時点ではそのようなものは手にできないということでしょうか。

○企画財政課長 取組というのは健全化計画でお示ししました。ただその結果については決算が出ないと明確な数字として出てこないという点があります。そういった意味で、2年度決算が確定してからの公表になってきます。

○委員 分かりました、ありがとうございます。

○議長 それでは3月末でないと出ないということですか。

○企画財政課長 行政は4月、5月の出納整理期間をもって決算にかかりますので、またさらに時間がかかってくるという形になります。

○議長 見通しも出ないのですか。

○企画財政課長 見通しも並行して立てていくことを検討しているところです。

○議長 はい、ありがとうございます。

○委員 今回資料を事前配布され、資料に書かれているようなことについて話し合うのではないかとということで一生懸命調べてきたのですが、そうではありませんでした。

例えば、策定の趣旨、性格、位置づけ、期間や計画の構成などを皆さんがどのように考えるのかということをお問われるのだと思っていました。それがなかったの、これでは自分が調べてきた必要はなかったのだと感じました。

次回からは、委員の皆さんにどのようなことを聞くかということをお事前に教えていただきたいと思っています。

私が以前県の総合計画の策定に関わった時では、皆さんに意見を聞き、それをまとめると

いう方法で策定を進めていったように覚えています。

ここを調べて意見をまとめてきてほしいというところを示していただければ、皆さん端的にまとめた自分の意見を言えると思います、いかがでしょうか。

○**企画財政課長** ご指摘の点につきましては次回注意いたしまして、資料配布とともに次の審議会で議論いただくポイントを明確にしたいと思います。

○**委員** お願いします。

○**議長** 今言われたようなことも、言っていただいてよいと思います。

事前配布の資料しか現実的には見ていないわけですから。今日配られた資料の方がかなりウェイトが高かったというのも事実です。

前段階でどのくらいの内容を疑問に思われたのか、あるいはここは違うのではないかということがありましたら、今でも結構ですと言っていただければと思います。委員特に言うことが何かありますか。

○**委員** 1つずつ全て言っていくとかなりの量になりますので結構です。

○**議長** では、ぜひ提出してください。いただければ事務局の方で整理します。

○**委員** はい、ありがとうございます。

○**議長** 他にご質問はありますか。

○**委員** 3月1日の分科会は時間がかかりますか。

この日は区の町内会の配り物がある日で、私は副区長でして配ることになっています。

○**企画財政課長** 時間は12時45分から15時45分までと少し長めを想定しております。

○**企画調整係長** その日にちは都合が悪いということでしょうか。

○**委員** 避けていただければありがたいです。

○**委員** 私も区長なので同意見です。

○**企画財政課長** 日程をもう一度調整させていただきます。

○**議長** 他にご質問はありますか。

○**委員** 先日の鷺見先生からの資料に総合計画の体系図が示されていますが、一般的に他の市町村ですと基本計画の後に実施計画があるかと思えます。この事務事業というところが実施計画にあたりと考えると考えてよいでしょうか。

○**企画財政課長** 一般的には基本構想、基本計画、実施計画の3層型で、実施計画はある意味事務事業の一番下の部分になってきます。

今回は基本計画の段階までで実施計画までの落とし込みは考えていません。

○**委員** 他の市町村を見てみると市民とワークショップを行うなどして、長い時間をかけて具体的な事業を作り上げるところもあるなかで、今後その実施計画を進めるにあたって事務事業をどのような形で作り上げていくのかというイメージについてお聞かせいただきたいです。

基本計画を作って、事務事業に関しては市がこの基本計画をもとに、言葉は悪いですが勝手に作るという形になるのでしょうか。

○企画調整係長 理想は事務事業がきちんと実施計画に落とし込まれている形で、体系的に示せるとよいと思いますが、今回そこまで行えるかというところがあります。後期計画の時に実施計画を作るなどの方法はあると思います。

総合計画は3層で作られていることも多いのですが、検証が煩雑になり、作るのに手間がかかりすぎる、コンサルに頼むとコストがかかりすぎるというデメリットが指摘されています。そこで、2層にして基本計画をより詳しく書いて具体化するという動きもあります。

今回2層にしたのは、何もない中でいきなり3層のものを作ろうとすると、それだけ市の事務が増えるということになるからです。2層でまとめるということで今回動き出しています。

動き出していく中で事務事業のところが体系立っていないという話が出てくるようであれば、やはり後期計画を作る時に実施計画を作るなどの対応が必要になってくるかと思いますが、現段階では2層で作成したいと考えています。

○委員 わかりました、ありがとうございます。

○議長 3層が本来の形なのですが、あまり3層にこだわらなくとも私はよいと思います。

それは、元々地方自治法の規定では総合計画を作ることが義務だったのですが、それを今は規定していないということはある程度市町村の裁量に任せるとのことだと考えられるからです。

ただし、その中で考えてくださいということです。総合計画はなくなっているわけではなくて、もっと有機的に使ったほうがよいのではないかということだと思います。

それと、このスケジュールと時間では3層のものは作れないと思います。

そのため2層で作ってみて、後期計画の段階で作るのもよいし、3年4年したら見直しをしても構わないのではないかと私は思います。なぜなら、例えばこの中に今の感染症対策など全く入っていないわけですから。感染症対策はこれから無縁ではなく、そこでこういったことを入れるのかという議論もあるわけです。

つまり、これから想定外のことが現実起こりうるということです。医療も福祉も防災も、全てこれから想定外のことが起こりうるわけですので、そういったものをどこまで入れるかということは議論となるころだと思います。

そのため私個人としては、そういったことを考えるともっと柔軟にしてもよいのではないかと思います。

また、実際問題として総合計画を作っているところがしっかりと振り返りをしているか、そこで変更を行っているかということについてもなかなか難しい問題があります。総合計画の振り返りは誰が行うのかという問題です。

これは市しかできません。客観的なデータがない市民はできないのです。

そういった意味で問題となるのは、作った後にどのように検証していくかということです。作ることはゴールではなく、スタートなのです。

そのため、この審議会は計画を作成した後、作ったその計画が適正に回っているのかというところをウォッチしていく必要もある、とまで言うと言いすぎですが、そういったことも考えて皆さんぜひお願いします。

普通の一般企業で3年、5年の計画を作るかということ、作らないと思います。実際問題として、5年前の計画はもう時代に合わないわけですので。2年か3年、下手をすればもっと短いタームで作る場合もあります。

例えば10年というスパンは長いような気もしますが、ただ行政というものは継続していかなければなりません。

これからはもう少し皆さんとのコミュニケーションをとる必要があるのではないかと私は感じています。

資料については、事前配布の資料と当日の資料に大幅な変更があった点については私にも責任があるので、どうかご了承いただきたいと思います。

これからは事前に資料が配られるようにしたいと思っておりますが、どうしても当日にしか出せないということもありますので、ぜひそこはご了承していただきたいと思っております。

今回の事前配布の資料と当日の資料がうまくかみ合わなかったことについては、会長として申し訳なく思っておりますし、これからは気を付けたいと思っております。

以上で議事のところは終了しましたが、他に意見はありますか。

○議長 それでは、これで私の方の議事進行は終了させていただき、事務局へお返しします。よろしく申し上げます。

[事務局より次回の日程等について連絡]

○企画財政課長 それでは、本日の審議会はこれで終了いたします。どうもありがとうございました。

15時40分 閉会